

ー日本ショック学会会長賞の新たな副賞ー

この度、日本 Shock 学会学術集会における、会長賞選考演題のうち最優秀演題に対し、国際 Shock 連盟機関紙であり日本 Shock 学会英文機関紙でもある SHOCK 誌への掲載を副賞とすることが、Chief Editor の Prof. Daniel Remick により承認されました。ただし、以下の条件を満たすものとします。

- 1) 日本 Shock 学会の会長賞セッション臨床医学部門、基礎医学部門の 2 セッションのうち、最優秀演題 1 つとする。
- 2) その演題は、次年度の米国 Shock 学会で従来通り、口演発表することを前提として投稿する。
- 3) その論文査読は、日本 Shock 学会理事長と副理事長を含む、SHOCK 誌の日本人 Editorial Board Member が教育的に行う。
- 4) 最終判定は、Editor-in-Chief: Prof. Daniel G. Remick に委ねる。

したがって、会長賞セッションへの応募は、米国 Shock 学会での口頭発表のみならず、最優秀賞を受賞した際の SHOCK 誌への投稿を行うことも前提でご応募ください。

皆さん、日本 Shock 学会を代表して研究成果を米国 Shock 学会で口頭発表し、SHOCK 誌で世界に発信しましょう。